

2021年度 幸福の科学学園関西中学校・高等学校 学校評価

本年度の学校目標

- ・「高貴なる義務」を果たす、「徳ある英才」を育てる。
- ・宗教教育によって、神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った人材を育てる。
- ・規則正しい生活習慣と学習習慣の確立により、学力向上を目指す。

	領域	重点評価項目	教職員	生徒	学校関係者	総合評価	備考
1	学校経営	学校では、宗教教育を基に神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った「高貴なる義務」を果たす人材づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、学習活動、学校行事、部活動などで特色のある教育活動が行われている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
2	学習指導	カリキュラムは、生徒の学力・個性を伸ばし、将来の希望を実現するように工夫されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の学び意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、授業の中で教材や教え方に様々な工夫をし、学習する内容をていねいに指導している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、より高いレベルを目指す生徒へ配慮した教科指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
3	生徒指導	学校は、宗教科の授業などで、仏法真理に基づいて、善悪の判断や他人を思いやる心を育てている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の自立・自律する気持ちを大切に生活指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、適切な人権教育を行い、人権が尊重される学校づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に対して、挨拶・服装・遅刻などの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
4	進路指導	学校は、生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に必要な進路情報や資料を収集し、適切に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に大学進学に向けた実力養成の機会(講習・模試など)を十分に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、あなたの文系理系の選択や科目の選択について十分に指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
5	特別活動等	体育祭や文化祭(翔龍祭)など、生徒にとって有意義な学校行事を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校の部活動は、顧問の指導の下、活発で有意義な活動になっている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒会活動や各種委員会活動の活性化を図り、学校生活をよりよいものにしていく。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
6	保健・安全管理	学校は、交通安全・防災・健康教育に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の安全や健康管理に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、環境美化に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
7	教育環境	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
8	事務・管理	学校は、教育活動に必要な備品、消耗品についての整備をしている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、個人情報の管理を含め、適切な文書管理を行っている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
9	保護者・地域との連携	学校は、地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源を活用し、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	B	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、保護者の意見を聴き、積極的に保護者会活動を推進している。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、さまざまな機会を通して、地域との連携を深めるように努めている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、文書やメール、ホームページなどによって、学校の情報を保護者や地域の人々に適切に伝えている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者

2021年11月24日(水)～2020年12月20日(月) 教職員、生徒、学校関係者にアンケート形式で実施

評価表の見方 本年度の教育活動に対する総合評価をABCDEFの6段階評価で示す

- ・評価者は教職員・生徒・学校関係者の3者を原則とするが、一部、3者によらない例外も設定されている。
- ・ABCDEFの基準は、アンケートを集約した結果、肯定的な評価(85%以上)=A、(85%未満～70%以上)=B、(70%未満～55%)=C、(55%未満～40%)=D、(40%未満～25%)=E、(25%未満～)=Fとする。

2021 年度 学校評価に対する分析・総括および保護者の皆様のご意見に対するご回答

2021 年度の学校評価(自己評価・学校関係者評価)に対する分析と総括をさせていただきます。また、学校評価アンケートにおいて、保護者の皆様から様々なご意見・ご要望をいただきましたので、特にご意見の多かった項目をご回答させていただきます。

【分析・総括】

2021 年度は全体を通じて、概ね肯定的な評価となり、総合評価はすべて A でした。更なる学園の改善のために教職員自身の自己変革を図ると共に、保護者の皆様や地域の関係者と連携しながら教育活動の充実に努めてまいります。

毎年、総合評価が B だった「学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている」は、今年も A でしたが、まだまだ十分に対応できているとは言えません。引き続き、学習の遅れがちな生徒に対して、授業の工夫、補講等を行い基礎学力の定着を図ってまいります。そして、一人ひとりの学習進度に合わせて、丁寧な指導を行ってまいります。

また、今年はコロナの影響で、学校行事に近隣の方々をご招待し、交流を図る機会がほとんど持てませんでした。一日も早いコロナ禍の収束を願いつつ、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

【ご意見・ご要望】

○寮生活なのでスマホを持ち込んでいる生徒もいると思いますが、スマホに依存することなく、徳育を重んじる学園であってほしいと思います。

⇒ 関西校では年 3 回以上、スマホ・インターネットの正しい使い方や危険性を学ぶ研修会を開催しています。また、中学生は夜の時間に寮受付でスマホ預かりをしています。スマホを正しく使えない生徒に対しては、しばらく預かって規則正しい信仰生活ができるよう指導しています。私たちはスマホに依存することなく、心をコントロールできる智慧ある生徒を育てていきたいと考えています。これからも徳育を重んじて教育してまいりますので、ご支援賜れば幸いです。

○寮生は学校生活や寮生活の様子がよくわからないので、もう少し情報発信があればありがたいです。

⇒ 学校の様子は学年通信や学級通信を発行し、寮生活の様子はメールやホームページでお知らせしていますが、遠く離れた保護者の皆様には、まだまだ情報量が足りないと思います。できるだけ回数を増やすように努力してまいります。また、今年は関西校のホームページをリニューアルし、公式ツイッターや部活動ブログを始めましたのでご覧ください。

○コロナの影響で海外語学研修が中止になり残念です。ぜひ、海外の方との交流機会をなくさないようお願いいたします。

⇒ コロナが収束し、海外の受け入れ態勢が整えば、再開に向けて検討したいと思っています。現在は、国内の研修旅行に切り替えて、幸福の科学での精舎(宗教施設)やハッピー・サイエンス・ユニバーシティ、国際本部にご協力いただき、ネイティブとの交流を行っています。また、ネイティブを学園に招待したり、オンラインで交流したりもしています。今後も、積極的に展開してまいりますので、宜しくお願い致します。

○カフェテリアの床の汚れや、校舎の外壁の蜘蛛の巣など気になることがあります。

⇒ 校舎と寮は年 2 回業者による一斉清掃をしています。その時はカフェテリアの床や外壁も綺麗になるのですが、すぐに汚れてしまいます。今後、床はモップで拭くだけでなく、洗剤を使って磨き込むようにしてまいります。また、外壁は時折、高圧洗浄機を使って蜘蛛の巣などを取り除いてまいります。

以上